

## 全国月間火山概況

浅間山では、傾斜変動と火山性地震の増加により、火口から4 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が切迫していると予想し、2月1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後、2日01時51分頃に小規模な噴火が発生しました。

噴火が切迫する状態ではないものの、引き続き火口から4 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があると予想し、3日に火口周辺警報を発表し警報事項を切替えました。その後も、9日から17日にかけてごく小規模な噴火が発生しました。

桜島では、2月1日から2日にかけて昭和火口で爆発的噴火が繰り返し発生したことなどから、噴火活動は活発化する傾向にあると判断し、2日09時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後、19日15時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。

3月1日から2日にかけて昭和火口で爆発的噴火が3回発生し、また大隅河川国道事務所が有村に設置している傾斜計の観測で、山体の膨張と考えられる変化が認められたことなどから噴火活動は活発化する傾向にあると判断し、3月2日10時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

その他の火山の予報警報事項に変更はありませんでした。

3月6日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

**表1 3月6日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況**

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	浅間山、桜島、口永良部島
	レベル2 （火口周辺規制）	雌阿寒岳、三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、草津白根山、御嶽山、富士山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳、那須岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、箱根山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島、北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

### 【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

#### 雌阿寒岳【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

ポンマチネシリ火口の噴煙はやや多い状況で推移しました。また、火山性微動が時折発生し、火山性地震はやや多い状態で推移しました。

雌阿寒岳の火山活動は引き続きやや高まった状態となっており、今後ごく小さな噴火が発生する可能性があることから、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では少量の降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

#### 浅間山【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】←2月1日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げ、2月3日に火口周辺警報の警報事項を切替(噴火警戒レベル3、(入山規制)継続)

1日2時頃から、山頂の東北東にある傾斜計で変化が始まり、同日午前には山頂直下を震源とする周期の短い火山性地震が増加したことから、1日13時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。

傾斜変化と周期の短い火山性地震の多い状態はその後にも継続し、2日01時51分頃に小規模な噴火が発生しました。この噴火で、弾道を描いて飛散する大きな噴石が山頂火口の北西約1kmまで飛散し、噴煙は火口縁上2000mに達して南東方向に流れ、関東南部でも降灰が確認されました。

2日01時51分の噴火以降は、傾斜変化や周期の短い火山性地震の増加が認められなくなったことから、3日09時30分に火口周辺警報(噴火警戒レベル3を継続)を発表し、噴火が切迫する状態ではないものの今後も火口から4kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるとの警報事項に切り替えました。

その後も、9日から17日にかけて、ごく小規模な噴火が断続的に発生しました。

浅間山では、火口から4キロメートルの範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、

これらの地域では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です

### 三宅島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

噴煙高度は火口縁上 100～400mで推移しました。

3日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり 1,300～2,300 トンで、前期間(2009年1月、一日あたり 1,200～1,900 トン)と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いています。

また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には泥流にも注意が必要です。

### 硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険)】

独立行政法人防災科学技術研究所及び国土地理院の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過していますが、2006年8月以降みられている島全体が隆起する地殻変動は現在も継続しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

### 福徳岡ノ場 【噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報】

20日に海上自衛隊が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場付近の海面で火山活動によると見られる変色水が確認されました。これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福徳岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福徳岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

### 阿蘇山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

中岳第一火口では、2月4日にごく小規模な噴火が発生し、火口から南西約 800m 付近で微量の火山灰が確認されました。また、火口内では時々微量の火山灰の噴出を確認しています。南側火口壁噴気孔からの火炎現象も、火口カメラで夜間に時々確認され、夜間の現地調査でも観測されています。

中岳第一火口の湯だまりの表面温度や湯量に大きな変化はありませんでした。

地磁気観測による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられましたが、2008年以降はその増加傾向が鈍っています。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、火口内では火山灰や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要です。

### 桜島【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】 ←2月2日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げ、2月19日に噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引下げ、3月2日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げ

昭和火口では、2月1日から2日08時までに爆発的噴火が8回発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目(昭和火口より 500mから 800m)まで達しました。このため、桜島の噴火活動は活発化する傾向にあると判断し、2日09時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げました。

爆発的噴火は5日00時35分まで断続的に発生しましたが、その後は爆発的噴火や小規模以上の

噴火が発生していないことから、19日15時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。3月1日から2日にかけて、爆発的噴火が3回発生し、2日06時53分には弾道を描いて飛散する大きな噴石が昭和火口より4合目（火口から800mから1,300m）まで達しました。また、大隅河川国道事務所が有村に設置している傾斜計の観測で、山体の膨張と考えられる変化が認められました。このため、桜島の噴火活動は活発化する傾向にあると判断し、3月2日10時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

桜島の直下にマグマが新たに移動、上昇したことを示す地殻変動は観測されていません。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に、降雨時には土石流に注意が必要です。

### **薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上概ね200mで推移しました。火山性地震はやや多い状態が続いています。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では警戒が必要です。

### **口永良部島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

GPSによる地殻変動観測では、2008年9月から続いている新岳火口浅部の膨張を示す変化は、やや鈍化していますが、現在も継続しています。また、同時期から噴気や火山ガスの放出量が増加するなど、火山活動が高まった状態が続いています。

遠望カメラ（新岳火口の北西約3km）の観測によると、新岳（しんだけ）火口から火口縁上概ね100mの噴気が時々観測されました。

16日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり概ね100トンと、前回（1月16日実施、概ね200トン）と比べてやや少ないものの、継続した放出が認められています。

口永良部島では、引き続き火山活動が高まっており、今後、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね2kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

### **諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

御岳火口では、爆発的な噴火が9回発生したほか、小規模な噴火も時々発生しました。諏訪之瀬島では長期的な噴火活動を繰り返しています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口から約1kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では警戒が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成21年3月6日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年9月29日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報(平常) 2008年11月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	十勝岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年12月16日 噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	吾妻山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	磐梯山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	浅間山	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	新燃焼山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域危険)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。  
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## (2) その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、バルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山